

平成25年度新規就農者激励会を開催しました

4月24日（水）に佐久合同庁舎講堂において新規就農者激励会を開催しました。新規就農者14名、里親研修生9名、そして、各地域の農業青年クラブ員や市町村、普及センター等総勢61名が参加しました。

激励会に先立ち研修会を開催し、(農)ベジーツ代表理事の山本裕之氏より先輩農業者として講演をして頂きました。就農の動機から経営を拡大した経緯等、自らの経験に基づく貴重なアドバイスをいただきました。地元の農業青年クラブでの活動のようす、長野県の青年農業者が組織する「PALネットながの」で、学習会や商談会に参加するなど多くの人との交流により自らの経営を伸ばすキッカケができたお話しをされ、参加した新規就農者や研修生は、今後の経営に向けての夢を抱いたようです。

激励会では、普及センターの上杉所長より、研修会に積極的に参加したり、農業青年の仲間との情報交換等を通じ、自分の経営を伸ばしてほしいとのあいさつがあり、さらに、佐久農業委員会協議会の市川会長や農業経営者協会南佐久支部の由井支部長、農業経営者協会北佐久支部の古越副支部長から先輩農業者としての激励の言葉をいただきました。

新規就農者からは、自己紹介とこれからの抱負を述べてもらいました。新規参入で、研修をして農業を始める方、農家後継者として新規学卒、また、Uターンで農業を始める方など経緯や経営状況などは様々でしたが、やる気に満ちた決意が聞かれました。農業青年クラブからの活動紹介もあり、新規就農者の方々に大いにアピールすることができました。

その後の交流会では、新規就農者の方々が農業青年クラブ員や普及員などと語り合うことで情報交換や地域の仲間づくりも進められました。



山本裕之氏からのアドバイス



農業委員会協議会市川会長の激励の言葉



新規就農者の抱負発表



青年農業者交流会の様子